


必ずお守りください。安全上のご注意▶

⚠ 警 告

<リチウム電池について>
(1)この電池はリチウム、有機溶媒など可燃性物質を内蔵しており、
使い方を間違えますと発火、発熱、漏液、破裂の原因となります。
(2)この電池はカメラなど指定された用途専用です。指定された用途
以外に使用しないでください。
(3)ショート、充電、分解、変形、加熱、火に入れるなどしないでく
ださい。
(4)電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲みこんだ
場合には、直ちに医師と相談してください。
(5)電池を破棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁
してください。他の金属や電池と混ざると発火、破裂の原因とな
ります。
<梱包用ポリ袋について>
ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

⚠ 注 意

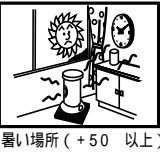
<掛け方について>
時計は確実に掛けてください。
落下により、けがおよび器物を破損する恐れがあります。
掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さに充分
耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は掛け具に同梱の
案内文も必ずお読みください。
記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談ください。
掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右そして手前に軽く
動かし、正しく掛かっていることを確認してください。
木の厚い壁・木の柱に掛けるとき
添付の木ねじをご使用ください。
石膏ボードの壁に掛けるとき
添付の掛金具、釘をご使用ください。
コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けるとき
添付の掛け具は使用しないでください。
市販の掛け具をご使用ください。



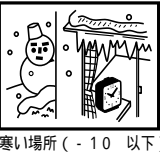
必ずお読みになってからご使用ください。使用場所・お手入れ▶

使用場所について


下記のような場所では使わないでください。
機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こ
すことがあります。また本商品は業務用ではありません。




暑い場所（+50℃以上）



寒い場所（-10℃以下）



振動の激しい場所



湿気の多い場所

温度が+50℃（50度）以上になる所や直射日
光のあたる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
温度が-10℃（氷点下10度）以下になる所。
〔プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。〕
塵、埃の多い所。
〔空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まって時
計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。〕
大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
〔磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止ま
ることがあります。〕
浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や
加湿器の蒸気が直接あたるような所。
振動のある所。不安定な所。
工場、台所など多くの油を使用する所。
〔霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が〕
止まることがあります。
ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計を汚したり傷めることがあ
ります。

⚠ 注 意

<電池について>
下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液
もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となりま
す。
(1)⊕ ⊖ を正しく入れてください。
(2)製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていて
もすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わ
ないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換
や、電池を入れたままにしておく、他の部分の止まりや古い
電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたり
する恐れがあります。
(3)この電池は充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそ
れがあります。
(4)電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
(5)直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また
使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないと
ころに保管してください。
(6)時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。
す。やわらかい布などでクリーニングしてください。
(7)添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿
命は製品仕様の表示より短いことがあります。

<時計の設置場所について>
落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、
振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をお
すすめいたします。販売店にご相談ください。

ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使
わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないように
してください。変色、傷の恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合
枠をふくときは、濡った、やわらかい布でふいてください。
よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい
布につけてふき、ふいた後で乾ばきしてください。

木枠・金属枠の時計の場合
よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾ばきしてください。
お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れがあ
り大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

製品仕様▶

精 度：平均月差±2.0秒
（電波受信による時刻修正を行わない場合）
（気温5℃から35℃で使用した場合）

表 示 精 度：±1秒（時分針は±3度）
（電波受信による時刻修正を行なった直後）

使用温度範囲：-10℃～+50℃

使用電池：円筒形リチウム電池2個（JIS規格CR123A）

電池寿命：約5年

電波受信機能：自動受信（1日12回）
（受信から次の受信まではクオ・ツの精度で
動いています。）
手動受信（強制受信）

受信結果確認機能：ボタン操作により受信結果をLEDライトで表示

時刻合せ機能：電波受信による自動セット

*上記の製品仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

保証・アフターサービス▶

この時計はメーカー保証です。
保証の内容については別添の保証書をご覧ください。
尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。
保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買上店がお預かりしメーカ
ーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼く
ださい。
保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後
の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
この時計の修理用部品は、7年間保有しています。
この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。
修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場
合でも元通りの精度にならない場合があります。お買上店とよくご相談
ください。
修理のとき、部品・その他の付属品は、-部代替部品を使用させていた
だくこともありますので、ご了承ください。
保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修
理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客
様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。
保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買上店にお持込みいた
だきます。修理を依頼されるときはお買上店にご持参ください。
ご不明の点はお客様センターにお問い合わせください。

SEIKO

掛時計

取扱説明書

タイムリンククロック

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご
愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取
扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合
があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら
責任を負いません。
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことが
ございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品
番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお
問い合わせください。
(例：AM、PW、KG など)
お客様センターフリーダイヤル 0120-315-474
http://www.seiko-clock.co.jp

発売元
セイコークロック株式会社

① 説明書番号 AZS-006J

故障かなと思ったときには▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考に調べ
てください。なお電池は買い置き品でなく、新規購入品をご使用ください。

症 状	考えられる原因	処 置
針が動かない	・電池が正しい向きで入っていない。 ・電池端子や接片が汚れている。 ・静電気などによりマイコンが誤作動 している。 ・電池を入れてから受信が成功してい ない。 ・受信に成功し、時刻修正中である。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて ください。 ・電池端子や接片の表面を拭いてください。また、 電池を入れて2～3回まわしてください。 ・リセットボタンを押してください。
スイッチ操作が効かない	・受信に成功し、時刻修正中である。 ・リセット後、受信動作中である。	・時刻修正動作が終了してから、再度スイッチ操作を してください。
時刻が合っていない	・受信していない。 ・電池が古くなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・「送信機の電波が受信できなかった場合」をお読 みになり、電波を受信させてください。 ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて ください。 ・確実にリセットボタンを押してください。
送信機と時刻が数秒合わない	・タイムリンククロックの時刻が修正される まで数時間～数日かかる場合があります。	・すぐに時刻を合わせたい場合は「送信機の電波が受信でき なかった場合」をお読みになり、電波を受信させてください。

タイムリンクについて

タイムリンクとは

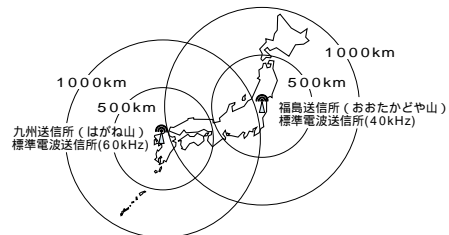
標準電波を受信して正確な時刻情報を送信するタイムリンク送信機と、その送信機からの電波を受信することで時刻を合わせるタイムリンククロックからなるシステムです。
今まで電波環境により標準電波受信が不可能だった場所でも、正確な日本標準時を受信・表示することができます。
送信機とタイムリンククロックを合わせてお使いください。（送信機品番：Z A 3 0 1 他）

標準電波とは

情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2ヵ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『セシウム原子時計』によるものです。

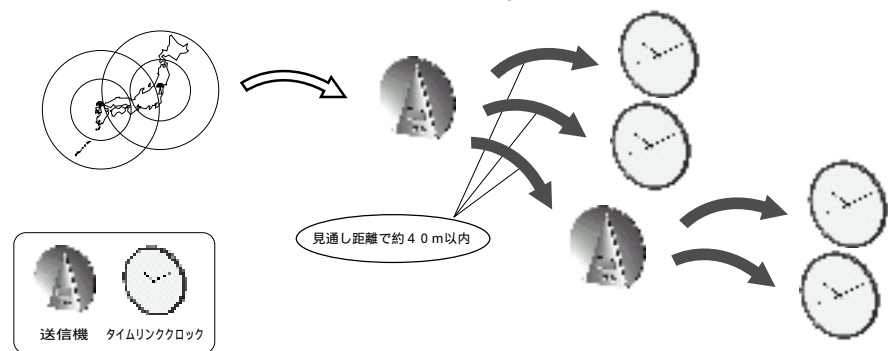
タイムリンク送信機について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2ヶ所）からおおむね1000km～1200kmの範囲です。送信機は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。
天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。
送信機からの電波の到達範囲は見通し距離で約40mです。また、送信機を中継機として追加していくことで、タイムリンククロックの使用可能範囲を広げることができます。



タイムリンククロックについて

タイムリンククロックの受信範囲の目安は送信機から見通し距離で約40mです。また、送信機を中継機として追加していくことで、タイムリンククロックの使用可能範囲を広げることができます。
タイムリンククロックの使用可能台数は、送信機の電波の受信可能範囲内であれば制限はありません。周囲の環境によって送信機の電波の届く距離は短くなる場合があります。
送信機とタイムリンククロックの間に障害物（金属製のドアやコンクリートの壁等）があると、電波をさえぎってしまい受信できない場合があります。

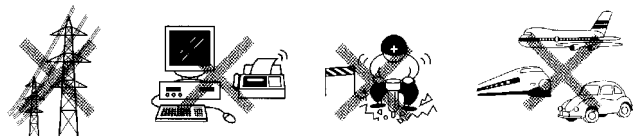


ご注意

電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
受信から次の受信まではクオ・ツの精度で動いています。
タイムリンク送信機が受信する標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また、設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。お客様センターにお問い合わせください。（ホームページアドレス <http://www.seiko-clock.co.jp>）

使用場所について

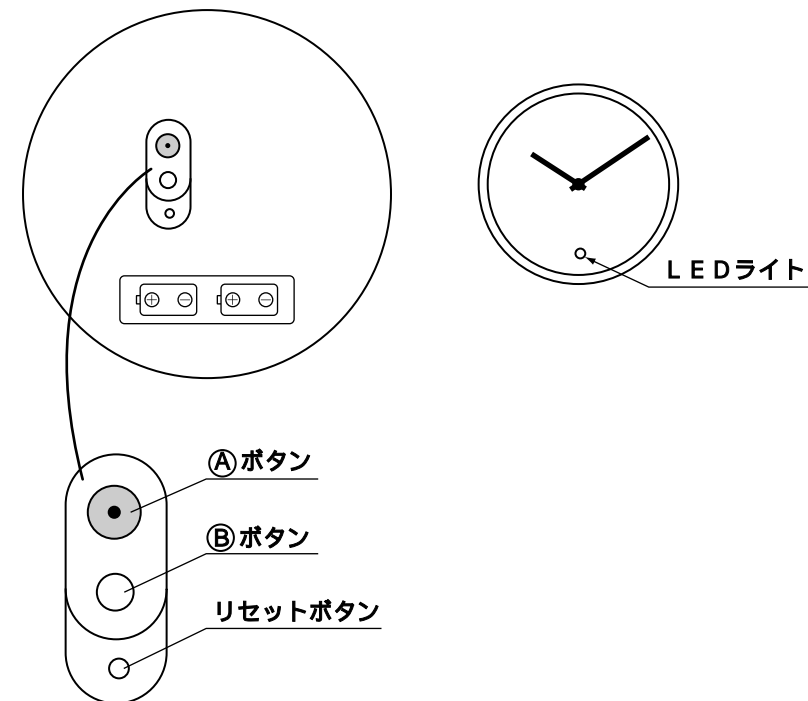
タイムリンククロックは、コードレス電話と同様に親機（送信機）の電波を受信して機能するものです。次のような環境下では、送信機の電波を正しく受信できないことがあります。
高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
工事現場、空港の近く、軍事基地や交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
その他電波ノイズを発生させるものの近く。
スチール机等の金属製の家具の上や近く、金属製の壁の近く。



ご使用方法

操作部

時計のデザインにより電池、ボタンの位置等は異なる場合があります。



ご使用の前に付属品をご確認ください。

円筒型リチウム電池 2 個
掛け具（木ねじ 1 本 ➡ 木の厚い壁・木の柱専用）
掛金具 1 個、釘 5 本（うち 1 本は予備 ➡ 石膏ボードの壁専用）
取扱説明書（本書）1 枚 保証書 1 枚

ご使用方法

この時計はタイムリンク送信機からの電波を受信することにより時刻を表示する時計です。
（標準電波の受信機能はありません）

1. 電池を入れてください

（円筒形リチウム電池（CR123A）2 個）

⊕ ⊖ をまちがえないように注意してください。

2. リセットボタンを押してください

送信機の送信ボタンを押して送信状態にしてください。
詳しくはタイムリンク送信機の取扱説明書をご覧ください。

実際にご使用になる場所でリセットボタンを押して、時計を掛けてください。
LEDライトが“緑”で2秒に1回点滅し、針が停止したまま受信を開始します。
受信範囲の目安は送信機から見通し距離で約40mです。

送信機との間に障害物（金属製のドアやコンクリートの壁等）があると、電波をさえぎってしまい受信できないことがあります。

受信に成功した場合
LEDライトが“緑”で1秒に1回点滅し、秒針が「12時の位置」で停止後に自動的に時分針を送信機に合わせます。その後「0秒」に合わせて秒針が動き出します。秒針の位置確認が終わるまでLEDライトの点滅が数分間続きます。

受信できなかった場合
約1時間受信ができないと、針が停止したままLEDライトが消灯します。
右記「送信機の電波が受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させてください。

注）電池交換時は、必ずリセットボタンを押してください。

その他の機能

受信結果について

通常運針中にⒶ ボタンを1回押すと以下のようにLEDライトの色によって電波受信結果を表示します。
“緑” が点滅：24時間以内に受信に成功しています。
“赤” が点滅：24時間以内に一度も受信できていません。

自動受信について

毎日12回、自動で電波受信を行ないます。
受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。
自動受信時はLEDライトは点灯しません。
5日間連続して受信できなかった場合、自動受信をしなくなります。
下記「送信機の電波が受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させてください。

送信機の電波が受信できなかった場合

場所を変え、電波を強制的に受信して時刻を合わせてください

送信機の送信ボタンを押して送信状態にしてください。
詳しくはタイムリンク送信機の取扱説明書をご覧ください。
Ⓑ ボタンを1回（5秒未満）押してください。LEDライトが“緑”で2秒に1回点滅し、受信を開始します。

受信に成功した場合
LEDライトが“緑”で1秒に1回点滅し、秒針が「12時の位置」で停止後に自動的に時分針を送信機に合わせます。その後「0秒」に合わせて秒針が動き出します。秒針の位置確認が終わるまでLEDライトの点滅が数分間続きます。

受信できなかった場合
約5分間受信ができないと、針が停止したままLEDライトが消灯します。場所を変えて再度受信させてください。
詳しくは **タイムリンクについて** をご覧ください。

手動で時刻を合わせることができます

この時計は手動で時刻を合わせることができます。
リセットボタンを押してください。LEDライトが“緑”で2秒に1回点滅します。
Ⓑ ボタンを1回押してください。LEDライトの点滅が止まります。
Ⓑ ボタンを秒針が動き出すまで（約5秒）押し続けてください。
秒針が「12時の位置」で停止後に時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで停止します。
（1:50, 3:10, 5:50, 6:10, 8:30, 9:10, 11:10, 12:10）
Ⓐ ボタンを1回押すと、分針を1分送り、押し続けるとボタンを放すまで、送り続けます。
Ⓑ ボタンを押すと、針が動き出します。

ご注意

電池交換時は、必ずリセットボタンを押してください。